

# 森づくり サポーターニュース

県営都市公園  
びわこ地域市民の森

Vol. 86

令和5年9月20日号

びわこ地域市民の森(森づくりセンター) 〒524-0102 滋賀県守山市水保町2727  
TEL:077-585-6333 FAX:077-585-6312  
biwako@moridukuri.info <https://www.moridukuri.info>

## 里の森ゾーンにおける森づくりの特長について (2)

里の森ゾーンの面積は5ゾーンで一番大きく12.9haあります。旧野洲川南流跡ですから細長く、上流の出会いのゾーンから2／3位までは南東から北西に向かい、森づくりセンター(以下、センター)、芝地、タマリあたりから折れて、下流(北)のふれあいゾーンへ向かっています。幅は200m程と広く中央に水路を新たに通し、県道側(東)に幹線園路1本と支線園路1本、市道側(西)は林の中に3本の支線園路を通すなどして、植樹地には多少の起伏を設け里山的な平地林を形成しています。

隣接するゾーンとは陸橋で繋がれ、小高く丘のようになっています。陸橋までの盛土と地域の2か所のお墓周りは法面(斜面)植栽になっています。この森の陸橋から森や地域を広く見渡すことができます。特にふれあいゾーンに向かう場所は、旧野洲川南流跡地の堤防を残しており、河畔林だった大エノキの雄姿も見られます。

里の森ゾーンは2008年～2013年に植樹され、10年～15年経ちました。樹齢は12年～17年になっています。河畔林中心のふるさとゾーンを除く造成した4つのゾーンでは、一番最後に植え終わったゾーンです。樹種はクヌギやコナラ、アラカシなどのブナの仲間、ケヤキ、ムクノキ、エノキ等のニレの仲間にヤマザクラ、ヤマモミジ、センダン、カクレミノ、ヤブニッケイ等々が植えられ、栽培種のクリやヤマモモ等、食味できる木は比較的集めて植えられています。

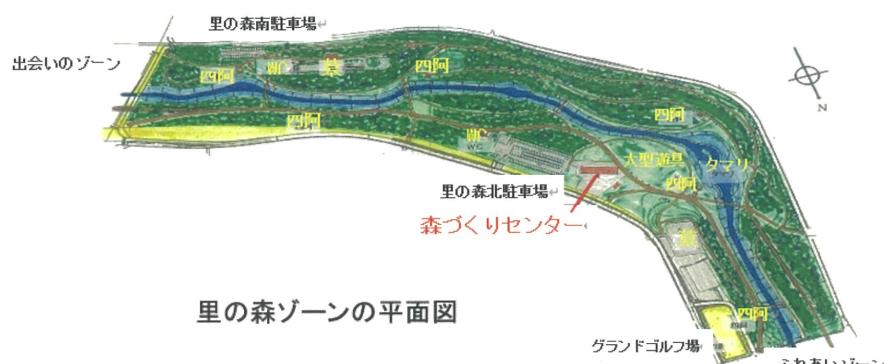
このゾーンは、『森の環境学習フィールド』(四季の花や緑、木の実があり昆虫や鳥が集まる森の観察フィールド)というテーマを設定しました。その上で里山的な森づくり(花木、木の実、昆虫)、森の生態系の観察・学習の場づくり、水辺景観(水路・ワンド)づくり、センターの設置等を方針に進められました。新たに花木を植える計画もあります。まだまだ間伐を進めて木々を大きく生長させ、豊かな生態系の森にしていかなければなりませんが、既にセンターから一番近い森が観察フィールドとして来園する皆さんに喜んでいただいていることを大変うれしく思っています。



並行した3本の支線園路の内、中道と四阿



木々の中をふれあいゾーンへ  
(左に大エノキが見える)



里の森ゾーンの平面図